

実務者研修 通信課程 受講生募集のご案内

改正「社会福祉士及び介護福祉士法」(平成 23 年 6 月公布)により、**平成 28 年度の介護福祉士国家試験(試験日:平成 29 年 1 月最終日曜日予定)**からは、**実務経験 3 年に加え実務者研修の受講が必要**となりました。

高齢化の進展や世帯構造の変化の中で、質の高い介護サービスを安定的に提供していくためには、介護人材の安定的確保・資質向上が不可欠であり、介護福祉士については、資質向上を図る観点から、平成 19 年に法律を改正し、資格方法が見直されました。

介護人材の養成体系を整理し「初任者研修修了者⇒実務者研修修了者⇒介護福祉士」をキャリアパスの基本とし、従来のホームヘルパー2 級を「初任者研修」と位置付け、在宅・施設を問わず介護職として働くうえで基本となる知識・技術を習得する研修とし、介護職員基礎研修は実務者研修に一本化されました。

下記の表のように、実務者研修を受講する場合、持っている資格により実務者研修で受講しなければならない科目、受講済みと認定される科目があります。○印以外の科目を受講することにより実務者研修修了となります。

介護福祉士を目指す方に、この実務者研修通信課程を受講することをお勧めいたします。

訪問介護事業所で必ず配置される「サービス提供責任者」になるためには、**実務者研修の修了か介護福祉士の資格**が必要となります。

平成 25 年 4 月より「ホームヘルパー2 級を修了し 3 年以上の実務経験を得ることでサービス提供責任者と認められた方」は、訪問介護事業所に配置しても**介護報酬(介護事務所の売上)から 10%も減額**されてしまうため、実務者研修の修了者は現場からも求められています。

原則として医師や看護師以外には認められていなかったたん吸引や経管栄養の基礎知識と基本技術を学ぶことができます。

教育内容	実務者研修 時間数	介護職員 初任者研修	訪問介護員研修			介護職員 基礎研修	その他 全国研修
			1級	2級	3級		
人間の尊厳と自立	5	○	○	○	○	○	
社会の理解 I	5	○	○	○	○	○	
社会の理解 II	30		○			○	
介護の基本 I	10	○	○	○		○	
介護の基本 II	20		○	○		○	
コミュニケーション 技術	20		○			○	
生活支援技術 I	20	○	○	○	○	○	
生活支援技術 II	30	○	○	○		○	
介護過程 I	20	○	○	○		○	
介護過程 II	25		○			○	
介護過程 III (スクーリング)	45					○	
発達と老化の理解 I	10		○			○	
発達と老化の理解 II	20		○			○	
認知症の理解 I	10	○	○			○	認知症実 践者研修
認知症の理解 II	20		○			○	認知症実 践者研修
障害の理解 I	10	○	○			○	
障害の理解 II	20		○			○	
こころとからだのし くみ I	20	○	○	○		○	
こころとからだのし くみ II	60		○			○	
医療的ケア	50(※)						嗜好吸引 等研修
実務者研修 受講時間数	450	320	95	320	420	50	

※「医療的ケア」は講義50時間とは別に演習を修了する必要があります。

実務者研修通信添削指導カリキュラム (31年12月修了コース)									
実務者研修 科目名称	認定講習内容				入学日				
	研修科目名	教育の内容	自宅 学習	添削回数	0001 一般課程	0002 初任者修了 課程	3001 2級修了 課程	3002 1級修了 課程	3003 医療的 ケア課程
			入 学 式 日		7月31日	8月21日	8月21日	9月4日	11月6日
人間と社会	人間の尊厳と自	人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解し、介護場面での倫理的課題について対応できる基礎的能力を養う	○	1	○	免除	免除		
	社会の理解Ⅰ	個人が自立した生活を営むことを理解するため、個人家族近隣、地域、社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや自助から公助に至る過程について理解する	○		○				
	社会の理解Ⅱ		○		○				
介護	介護の基本Ⅰ	「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するまた、介護における安全やチームケア等について理解する。	○	1	○	免除	免除	免除	免除
	介護の基本Ⅱ		○		○				
	コミュニケーション技術	介護を必要とするものの理解や援助の関係、コミュニケーションについて理解し、利用者や家族、他職種協働におけるコミュニケーション能力を身につける	○	1	○	○	○		
	生活支援技術Ⅰ	その人の自立・自律を尊重し潜在能力を引き出したり見守ることも含めた適切な介護技術を用い安全に援助できる技術や知識を習得介護を必要とするものの理解や援助関係、コミュニケーションについて理解する。	○	1	○	免除	免除		
	生活支援技術Ⅱ		○		○				
	介護過程Ⅰ	他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案適切なサービスの提供が出来る能力を養う	○	1	○	○	○		
	介護過程Ⅱ		○		○				
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解Ⅰ	発達の観点から老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴の基礎的知識を習得	○	1	○	○	○		
	発達と老化の理解Ⅱ		○		○	○			
	認知症の理解Ⅰ	認知症に関する基礎的知識を習得し、環境に配慮した介護の視点を習得する。	○	1	○	免除	○		
	認知症の理解Ⅱ		○		○	○			
	傷害の理解Ⅰ	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得する	○	1	○	免除	○		
	傷害の理解Ⅱ		○		○	○			
	こころとからだのしくみⅠ	介護実践に必要な知識という観点から体と心の仕組みについて学ぶ	○	1	○	免除	免除		
	こころとからだのしくみⅡ		○		○	○			
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する	○	1	○	○	○	○	○

通学講習カリキュラム 12月コース									
実務者研修 科目	研修科目	教育内容	時間	0001 一般課程	0002 初任者修了 課程	3001 2級修了 課程	3002 1級修了 課程	3003 医療的 ケア課程	
こころとからだのしくみ	介護過程Ⅲ (48時間)	他の科目で学習した知識や技術を統合して介護過程を展開し、介護計画を立案適切なサービスの提供が出来る能力を養う	1日目	9:00~16:10	10月1日	10月2日	10月2日	10月1日	
			2日目	9:00~16:10	10月8日	10月9日	10月9日	10月8日	
			3日目	9:00~16:10	10月15日	10月16日	10月16日	10月15日	
			4日目	9:00~16:10	10月22日	10月23日	10月23日	10月22日	
			5日目	9:00~16:10	10月29日	10月30日	10月30日	10月29日	
			6日目	9:00~16:10	11月5日	11月6日	11月6日	11月5日	
			7日目	9:00~16:10	11月12日	11月13日	11月13日	11月12日	
			8日目	9:00~16:10	11月19日	11月20日	11月20日	11月19日	
医療的ケア	医療的ケア演習 (30時間)	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する	1日目	9:00~16:10	11月26日	11月27日	11月27日	11月26日	11月28日
			2日目	9:00~16:10	12月3日	12月4日	12月4日	12月3日	12月5日
			3日目	9:00~16:10	12月10日	12月11日	12月11日	12月10日	12月12日
			4日目	9:00~16:10	12月17日	12月18日	12月18日	12月17日	12月19日
			5日目	9:00~16:10	12月24日	12月25日	12月25日	12月24日	12月26日

・受講料（いずれのコースも分割可能です。また、各種補助制度があります。）お気軽にご相談ください。

①一般課程コース	¥145,000円	(添削指導料 60,500円、実技指導料 84,500円)
②初任者研修修了課程コース	¥125,000円	(添削指導料 40,500円、実技指導料 84,500円)
③ホームヘルパー2級修了課程コース	¥125,000円	(添削指導料 40,500円、実技指導料 84,500円)
④ホームヘルパー1級修了課程コース	¥70,000円	(添削指導料 10,000円、実技指導料 60,000円)
⑤医療的ケア課程コース	¥40,001円	(添削指導料 7,500円、実技指導料 32,501円)

実務者研修についてのお問い合わせ先
有限会社 鹿光学習センター (ロウカガクシユセンター)
〒060-0005
札幌市中央区北5条西14丁目1-42 鹿友ディアブラザ札幌
電話：011-261-5060 FAX：011-281-1462 (担当者 加藤)